

- 「BankART LifeV ~観光」開催!
- 続・朝鮮通信使2017
横浜・韓国アーティスト交流プログラム
- バンカースクール2-3月期受講生募集!
- 2018年1月~3月 主な展覧会・イベント
- 台北・横浜アーティスト交流プログラム

BankART NEWS Vol. 11

発行: BankART1929
2018年1月9日発行



「BankART LifeV ~観光」

観光という言葉が観行(みにいく)ではなく、「観光=光を観る」と書くように、もともとこの言葉には、与えられたものや顕在化されたものを見学するのだけではなく、そこにないもの、見えていないものを積極的に捉えようとする意味が含まれています。スーパーのレジ袋でできた丸山純子の無音花を往く小径は、みかんぐみがデザインした家に封印された光を訪ね歩く小さな心のツアー(観光)です。白い花が群生する雲のような空間の中を進んでいくと、小さな家に棲む生き生きとした主に出会う事になります。

高橋啓祐の海底山脈のような青い光の海は、無意識と意識を往来し、心の風景を覚醒させてくれます。『わたくしといふ現象は仮定された有機交流電燈のひとつの青い照明です(あらゆる透明な幽霊の複合体)風景やみんなといっしょにせはしくせはしく明滅しながらいかにもたしかにとりつづける因果交流電燈のひとつの青い照明です(ひかりはたもち、その電燈は失はれ)』宮沢賢治の「春と修羅」がよみがえってくるような空間です。

視点を外の都市の空間にむけても尚、この観光という言葉は、都市に棲み続ける人々に新しいヒントを与えてくれます。工事中の空き地、捨てられたような地下道、眠っているような建物、etc. ……。何が大切に守らなければいけないのか、何を新しくつくらなければいけないのか? これら全てがその可能性を教えてください。BankART Life V (横浜トリエンナーレ) は都市に棲み続けようとする人々に「観光都市横浜」の真意を伝えるプログラムでもあるのです。



creative Shop & Gallery 北仲COOP - 北仲のこれまでとこれから

現在、超高層住宅やホテル等の再開発工が進む北仲地区にはかつて、近代日本を支えた養蚕産業の倉庫群「旧帝蚕倉庫」があった。2005年から解体直前の1年半の間は、253名のクリエイターの集合アトリエ「北仲BRICK&北仲WHITE」として活用され、横浜創造都市の基盤を形成した場所だ。

北仲再開発の情報発信スペース「仮設北仲BRICK」は、この倉庫群解体後の工事現場の只中に建っている。この場所

を、トリエンナーレ開催期間にあわせ、当時の活動のリレー的な意味も含めて、アーティストグッズや作品を集めたショップ「北仲COOP」として展開させてもらった。会期中、創造界隈拠点のディレクターらによるシンポジウムや作家自ら作品や商品をプレゼンテーションする「ショップチャンネルトーク」等、イベントも多数開催することができた。会期終了後も関係者からのご理解を得て、週2回程度、継続オープンすることになった。尚、事務局は「オンデザイン」に移行した。



続・朝鮮通信使2017 横浜・韓国アーティスト交流プログラム

2010年にスタートし、人に会う、地域を訪ねる、パレードを行う、コンサートやシンポジウムや展覧会を開催する等、様々な活動を通じて新しい交流のネットワークを構築してきた「続・朝鮮通信使」。今年はいままで培ってきた関係をさらに展開して、韓国の各都市の重要な施設や組織と協定を結び、交換AIRプログラムを行った。釜山文化財団からジョン・ユンソン、ソウル市立美術館からはジャン・テウォン、インチョン文化財団からはノ・ギフン。光州市立美術館からはキム・セオラ、チェ・スンイム。日本人は、蔵真墨、太田真吾、黒田大祐、中川達彦、下西進が各組織のレジデンス施設で滞在制作を行った。AIRが中心なので発表には大きな力はさいていないが、各人とも、展覧会等、なんらかのプレゼンテーションの機会をもった。また帰国した日本人作家たちも、全員そろってアーティストトークに参加してくれ、充実した滞在の報告をしてくれた。



ジョン・テウォン

ジョン・ユンソン



チェ・スンイム

キム・セオラ



韓国滞在報告会



滞在報告展開催!

ノ・ギフン

「Moon and Light」

1月26日[金]～2月4日[日]

11:00-19:00

NYK 1F/Mini Gallery

バンカースクール 2018年2-3月期受講生募集!

BankART school 2018年2月～3月期の受講生の募集がはじまりました。是非みなさんご参加ください。

2-3月 詳細は別刷りチラシ・HPにて

- 月 | 「横浜建築家列伝 vol.4」五十嵐太郎+磯 達雄
①2/5 ②2/12 ③2/19 ④2/26 ⑤3/5 ⑥3/12 ⑦3/19 ⑧3/26
- 火 | 「美術館の読み方、楽しみ方2 全国編」村田 真+和田菜穂子
①2/6 ②2/13 ③2/20 ④2/27 ⑤3/6 ⑥3/13 ⑦3/20 ⑧3/27
- 水 | 「写真について」新井 卓、飯沢耕太郎、檜橋朝子、佐藤時啓、倉石信乃、小山穂太郎
①2/7 ②2/14 ③2/21 ④2/28 ⑤3/7 ⑥3/14 ⑦3/21 ⑧3/28
- 木 | 「見ることの誘惑—山田正亮と『日本の現代美術』」早見 堯
①2/1 ②2/8 ③2/15 ④2/22 ⑤3/1 ⑥3/8 ⑦3/15 ⑧3/22
- 土 | 「トランプのアメリカとブルース」鈴木啓志
①2/9 ②2/16 ③2/23 ④3/2 ⑤3/9 ⑥3/16 ⑦3/23 ⑧3/30



BankART schoolの概要 | 時間=19:30～21:30 会場=BankART Studio NYKにて 料金=1講座15,000円 入学金3,000円(初めての方のみ)
お申し込み方法 | ①受講したい講座名 ②お名前 ③ご住所 ④電話番号 ⑤メールアドレスを、メール・FAX・電話のいずれかにてお知らせください。
お申し込み・お問い合わせ | BankARTスクール事務局 school@bankart1929.com TEL 045-663-2812 FAX 045-663-2813

台北・横浜アーティスト交流プログラム2017年度

今年度の台北横浜交流事業では、台北TAVへ山下拓也が2018年1月12日から3月30日まで滞在。台北からは、サウンドアーティストのWANG Chung-Kunが2月21日から3月30日まで横浜に滞在します。それぞれの都市での滞在が、それぞれのアーティストの素晴らしい作品につながっていくことを期待しています。



WANG Chung-Kun



山下拓也

「宇徳ビルヨソカイ」から「トキワビルニカイ」へ

シェアスタジオ宇徳ビルヨソカイの契約終了に伴い、入居者はいくつかのチームに分かれて横浜市内、近隣に移転した。その中の建築系4チーム、美術系3チームが、常盤不動産ビルに移転した。横浜市役所の近く、ベイスターズ通りに面する古い雑居ビルだ。そのごくプライベートなお披露目が9月29日(金)に開催された。入居ゾーンではパーティの場所がとれないので、オーナーに許可をいただいてコンディションのよい屋上を提供してもらった。このチーム、北仲BRICK&WHITE(2005年)から続くメンバーも含むチームなので、特に何かをするわけではないが、既に自治会みたいなものができ、活動を始めている。ニカイ以外にもまだ空き部屋があるビルなので、さらに多くのメンバーが入居する予定だ。いずれにせよ、芸術不動産の、創造都市横浜の新しいステップに入りつつある。

BankART Studio NYK 閉鎖報道に関する BankART1929からのコメント

ホームページにも掲示しましたが、ここBankART NEWSでも記載します。

いつもBankART(=特定非営利活動法人BankART1929)を応援していただきありがとうございます。新聞/雑誌による「BankART 閉鎖」というニュースがSNSを通じて飛び交い、ご心配、ご心労をかけております。遅くなりましたが、あらためて、BankART1929から、この件に関する中間のご報告をさせていただきます。「BankART Studio NYK」は、確かに、2018年の3月末日で活動を終了します。2005年からの一部使用時期も含めて、たくさんの皆様とともに丁寧に育んできた場所には愛着もあり、また大きな賞をいただくような重要な展覧会やイベントの開催も数多く行った場所での活動を終了することは、本当に惜しみ多いですが、現実問題として、この事実を受け入れざるをえません。ただ BankART1929そのものが閉鎖するわけではないのです。BankART1929は来年の4月からもBankARTらしい活動を継続させる予定です。また、併行して、新しいプロジェクトを、横浜市が検討しているそうです。この大きな流れも見守りたいと思います。ということで、これまでも少なくとも3回は引越してきているチームですので、この大嵐を楽しみながら、工夫しながら、なんとか乗り越えていければと思います。状況は刻々と変化しますが、またいくつかのことが決定次第、ご報告させていただきます。今後ともよろしくお願いいたします。

編集後記

□2018年。BankART Studio NYKはこの3月一杯で、久々の大引越し、流浪の旅に突入することになる。これまでの13年間、大きなもので4回移動してきているので、なんとなくとは考えているが、今回は積み重ねた12年の歴史が大きく、そう簡単にはいかない。少なく見積もっても延べ3500イベントを行ってきており、ということは3500以上の関係があり、その書類やら、書物だけでも大変だ。まだここでは具体的な方向性はディスクローズできないが、4月からも元氣な姿をみせることができると考えている。引き続きよろしくお願いいたします。

2018年1月～3月 NYKで開催される、主な展覧会・イベント

TPAM2018 国際舞台芸術ミーティング in 横浜

2月10日[土]～18日[日] NYK全館

その他の主会場:KAAT 神奈川芸術劇場、横浜赤レンガ倉庫1号館、YCC ヨコハマ創造都市センター、Bayani's Kitchen、急な坂スタジオ、Amazon Club



お問合せ:国際舞台芸術ミーティング in 横浜 事務局(PARC-国際舞台芸術交流センター) 〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南3-1-2-3F Tel :03-5724-4660 Fax 03-5724-4661 https://www.tpam.or.jp/2018/contact

MEDIA PRACTICE 17-18 東京藝術大学大学院映像研究科メディア映像専攻 年次成果発表会 修士課程修了制作展 | 修士一年次成果発表

1月12日[金]～14日[日] NYK 1-2F 入場無料
お問合せ:東京藝術大学大学院映像研究科事務局 Mail:media-practice@gsfm.jp Tel:050-5525-2677(平日9:00-17:00)

和光大学 表現学部芸術学科 卒業制作展2018「Don't nod」

2月23日[金]～26日[月] NYK 3F 入場無料
お問合せ:和光大学 表現学部 芸術学科 Mail:sotsuten@wako.ac.jp Tel:044-989-7488(教学支援室)

多摩美術大学生産デザイン学科プロダクトデザイン専攻 卒業制作・修了制作展 2018 "What's up?"

3月2日[金]～4日[日] NYK 3F 入場無料
お問合せ:多摩美術大学プロダクトデザイン研究室 Mail:product@tamabi.ac.jp Tel:042-679-5624(月～土 10:00-17:00)

横浜国立大学建築EP卒業設計展

3月9日[金]～11日[日] NYK 1-2F 入場無料
お問合せ:横浜国立大学 建築EP有志 Mail:take8baske519@gmail.com

文化庁新進芸術家研修制度50周年記念展覧会 芸術家の棲む家 建築家と芸術家のコラボレーション

3月8日[木]～31日[土] NYK 3F 料金:1000円
お問合せ:堀川秀夫造形建築研究所 Mail:hideo@horikawa.ne.jp Tel:03-5347-4653

BankART 1929 office (BankART Studio NYK) 〒231-0002 横浜市中区海岸通3-9 TEL 045-663-2812 FAX 045-663-2813 info@bankart1929.com www.bankart1929.com